

第1回普及と実装科学研究会

The 1st Conference of Dissemination and Implementation Science

いま、なぜ、 普及と実装を科学するのか？ その基礎と研究事例

- **日時**：平成30年11月18日（日）
10:00～15:00
- **会場**：国立がん研究センター 新研究棟1階
大会議室
東京都中央区築地5-1-1

- **費用**：無料
- **定員**：300名
- **参加申込み**：事前登録
【締切：11/9（金）】
定員になり次第受付終了

申込みフォーム



<https://jp.surveymonkey.com/r/GRLP96V>

D&I
Dissemination
and
Implementation
Science
普及と実装科学

D&Iは、患者、保健医療従事者、組織、地域と協働しながら、エビデンスのある介入法を効果的に保健医療活動へ取り入れる方法について、開発、検証する学問領域です。

エビデンス・プラクティス・ギャップを埋めるための先駆的な研究事例について共有し、D&Iを推進するため、このたび「第1回 普及と実装科学研究会」を開催いたします。

当番世話人
国立がん研究センター 中央病院
支持療法開発センター長
社会と健康研究センター
副センター長
内富 庸介

午前の部

国立がん研究センター

島津 太一 「普及と実装科学研究とは何か？」

国立成育医療研究センター

森 臨太郎 「周産期医療の質向上に関するクラスターランダム化比較試験：科学的根拠に基づく方針と個別の診療方針をつなぐ試み」

国立精神・神経医療研究センター

山田 光彦 「救急医療を起点とした自殺未遂者支援のエビデンスとその社会実装」

慶應義塾大学医学部/あおぞら診療所

山岸 暁美 「救急・在宅医療連携による地域介入が終末期医療に及ぼす影響の実証とメカニズムの解明」

午後の部

東京大学大学院医学系研究科

川上 憲人 「スマートフォンによるベトナム看護師のメンタルヘルス対策」

東京大学大学院医学系研究科

鎌田 真光 「身体活動促進のためのポピュレーション介入研究」

国立長寿医療研究センター

村田 千代栄 「地域における認知症予防のための介入研究」

総合討論

- **主な対象**：
エビデンスの普及と実装に興味のある研究者・教育者・医療・福祉・保健・行政関係者
- **主催**：
国立がん研究センター
社会と健康研究センター
- **共催**：
日本がん支持療法研究グループ（J-SUPPORT）
- **後援**：
国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
厚生労働省
- **お問い合わせ先**：
国立がん研究センター
社会と健康研究センター 予防研究部
島津 太一（研究会事務局）
DandI@ncc.go.jp